

1-(1) コロナ禍における女性と社会のつながりサポート事業の開始

コロナ禍における女性と社会のつながりサポート事業を、9月1日(水)から開始する。

(1) 事業の背景・目的

新型コロナウイルス感染症の拡大や長期化で、特に**女性は深刻な影響**を受けている。
例えば、

- ・コロナ禍で特に影響を受けた**宿泊、飲食等のサービス業**は、
女性の就業者数も多く、非正規率も高い。
 - 雇用調整に伴う「勤務日数の減少」や「失職」による収入減
 - ・テレワークをはじめ**外出自粛のライフスタイル**が普及
 - 女性の家事労働の増加
 - 生活不安から、自身及び家族のストレス増加
- ⇒生活苦に直面している女性は多いと考えられる。

コロナ禍の終息が見通せない中、

女性の困難や不安は、ますます**深刻な状況**となることが懸念され、

⇒そうした**女性に寄り添い、必要な支援につなげる**取り組みが必要

(2) 事業内容

女性に気軽に来館いただき、**安心して話し**をしたり、**相談**したりできる、

⇒「**あんしんつながりステーション**」を**市内3か所**に開設（詳細はチラシ裏面を参照）

なお、**ステーションの運営**にあたっては、

→生活困窮者、ひきこもり、若者就労等の支援に取り組む、**市内NPO等と連携**

- ・**岐阜駅東**（橋本町1丁目 ハートフルスクエアG1階、岐阜市女性センター内）

<運営>

- ・岐阜市教育文化振興事業団（女性センターを運営）
- ・(特非) あゆみだした女性と子どもの会

- ・**柳ヶ瀬東**（美殿町）

<運営>

- ・(一社) サステイナブル・サポート

- ・**長良**（八代3丁目）

<運営>

- ・(一社) よりそいネットワークぎふ

開設日等、詳細はチラシ裏面を参照

◆ステーションでの具体的な取り組み

① 気軽に訪れ、安心して過ごせる居場所づくり

- ・女性に寄り添いながら話を聴くことができる支援員が常駐
- ・生理用品が買えない方には「女性用品」を無料配布
- ・岐阜駅東にはキッズスペースも用意（まん延防止等重点措置期間中は利用制限あり）

② 同じ悩みを抱える女性どうしが集い、話しができる場の設定（各所、月2回）

- ・普段口にはできないことでも、話を聴いてもらうことで、心の負担を軽減
- ・他者の話を聴くことで、自身の気づきを促す

③ 電子メール相談の実施

- ・何らかの事情でステーションまで来られない人には、電子メール相談で対応する

④ 個別相談、同行支援の実施

- ・支援員が女性から話を聴く中で、何らかの支援が必要と判断された方に対し、
→実務経験の豊富な相談員による「個別相談」を実施し、
→内容に応じ、より適切な機関（行政、他のNPO等）へ同行し、支援につなげる

こうした取り組みにより、

**コロナ禍で苦しんでいる女性の不安が少しでも和らぎ、
社会との絆・つながりが回復し、
安心して過ごしていただけるようにしていきたい**

(3) 周知啓発

今後、**担当部局**において、**様々な手段を活用し、周知啓発**に努める。

- ・大型ショッピングセンターでの街頭啓発（コロナ感染の状況に応じて）
- ・公共施設や女性がよく立ち寄るスーパーマーケットでのチラシ等配架
- ・市、女性センター、運営団体NPO等のホームページ
- ・市、女性センターのSNS